

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 669 号	氏名	松原 孝昌
学位審査委員	主 査	畑山 範	
	副 査	尾野村 治	
	副 査	田中 正一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、その特異な化学構造と生物活性の点から注目を集めている海産天然物オフィオジラクトン A とオフィオジラクトン B を合成標的として取り上げ、両天然物の合成法の確立と絶対構造の解明を目指したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本合成研究をとおして、高度置換ジエノールの高エナンチオ選択的不斉エポキシ化、ヨードラクトン化を利用した高立体選択的な<math>\gamma</math>-ラクトン部の構築、そして分子内でのカルボキシル基によるエポキシドの開裂を利用した高立体選択的な<math>\delta</math>-ラクトン部の構築からなる効率的合成法を開発し、オフィオジラクトン A の全合成を達成した。さらに、生合成仮説を参考にした方法論で、ベンゼン環と<math>\delta</math>-ラクトンとの直接的ラジカルカップリングを実現し、オフィオジラクトン A からオフィオジラクトン B の合成にも成功した。よって、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で合成研究を行った結果、オフィオジラクトン A とオフィオジラクトン B の最初の全合成に成功するとともにこれまで不明であった両天然物の絶対構造も決定し、今後のこれら天然物に基づく医薬開発研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は薬学の有機合成研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			